

PHILIPS

www.philips.com

『医療×MaaS』ヘルスケアモビリティで 健康・安心なまちづくりを

佐々木 栄二

株式会社フィリップス・ジャパン

2020年11月11日

innovation  you

 you



ヘルスケア産業に起きているトレンド
および
その延長にある健康・安心なまちづくり

コロナ禍が起こすパラダイムシフト(業界全体)

Before COVID-19

With / After COVID-19

例

リアル
(接触)

リアル&デジタル
(接触&非接触)

- デジタルの活用機会の拡大
診療や販売チャネル等がオンラインへ拡大

集約化

分散化

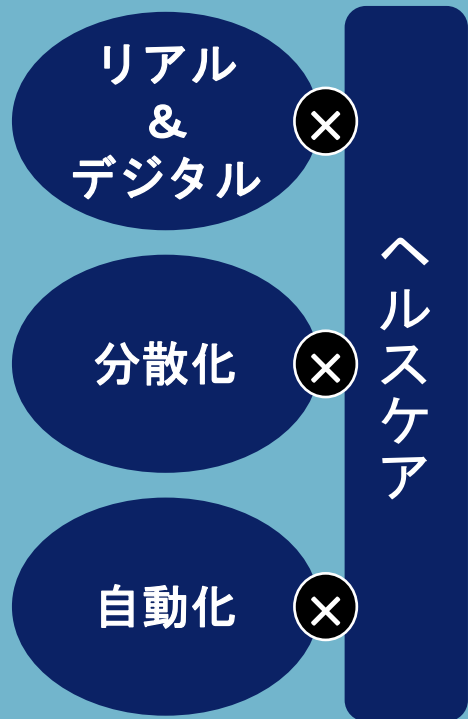
- 都心から郊外・地方への移転
住居・オフィス・工場・製造拠点等が移転
- 組織の中核機能の分散化
病院機能や企業の本社機能などが分散化

属人化・大規模化

自動化

- 自動化技術の浸透
事務作業・業務プロセスなどの領域に浸透

コロナ禍が起こすパラダイムシフト(ヘルスケア産業)



患者

- デジタル技術の活用へのシフト
(オンライン診療や遠隔モニタリングなど)



医療機関

- 医療崩壊を起こさない病院体制の構築
(負荷分散により、病床・ICUのボトルネックを解消)
- 機関毎の役割分担の明確化・連携の強化



企業・自治体

- クラスターを発生させない生活様式へのシフト
- 予防領域への取り組みの拡充



国・政府

- デジタル技術に対する規制緩和

第4次産業革命（デジタル革命）が到来

時期

第1次産業革命

- 18世紀から19世紀半ば

第2次産業革命

- 1870年～1914年

第3次産業革命

- 1980年代～継続中

第4次産業革命

今後のメインストリーム

概要

- 水力や蒸気機関による工場の機械化
- 電力による大量生産
- 情報技術を用いたオートメーション化
- AI、IoT、ビッグデータなどのデジタル革命により提供価値が変革

データ解析・利用による
新たな付加価値

需要者と供給者の
迅速なマッチング

クラウドによる
データ保管費用の低下

再生産の限界費用ゼロ
(ネットコンテンツ)

ヘルスケア産業のプレイヤーは、 デジタル革命に備えておくことが急務

概念的

非規制産業
グローバル産業
バーチャル（固定費が小さい）

規制産業
ローカル産業
リアル（固定費が大きい）

メディア

既存産業が
破壊された

小売り・銀行・保険

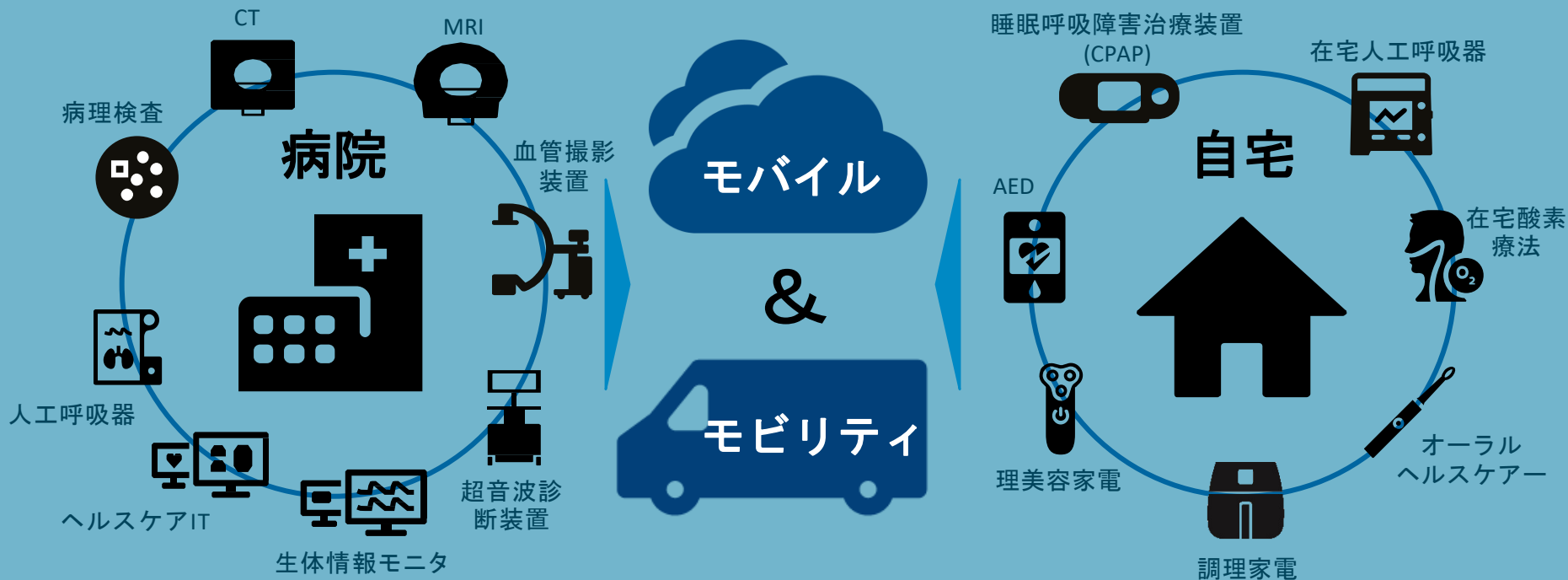
自動車、ヘルスケア

既存産業の
破壊が進む

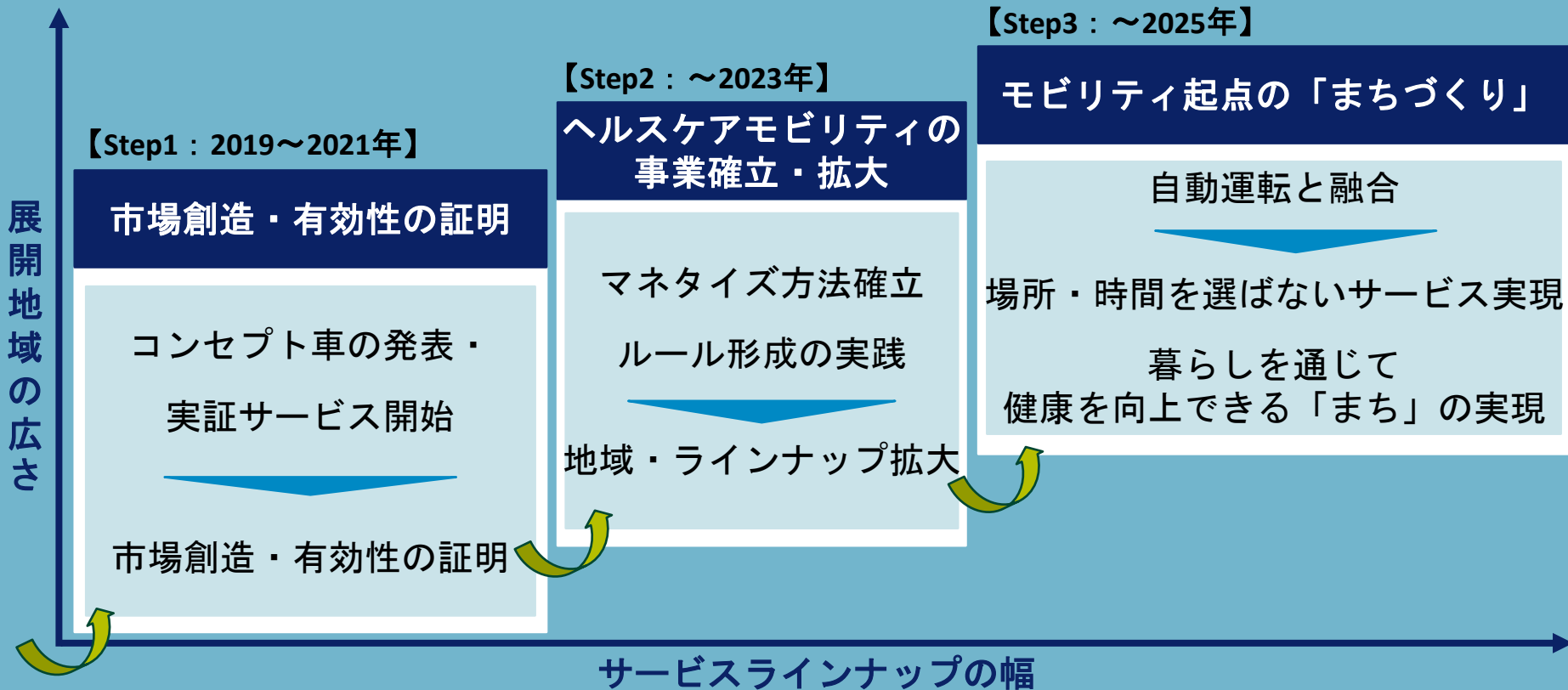


フィリップス ヘルスケアモビリティ構想

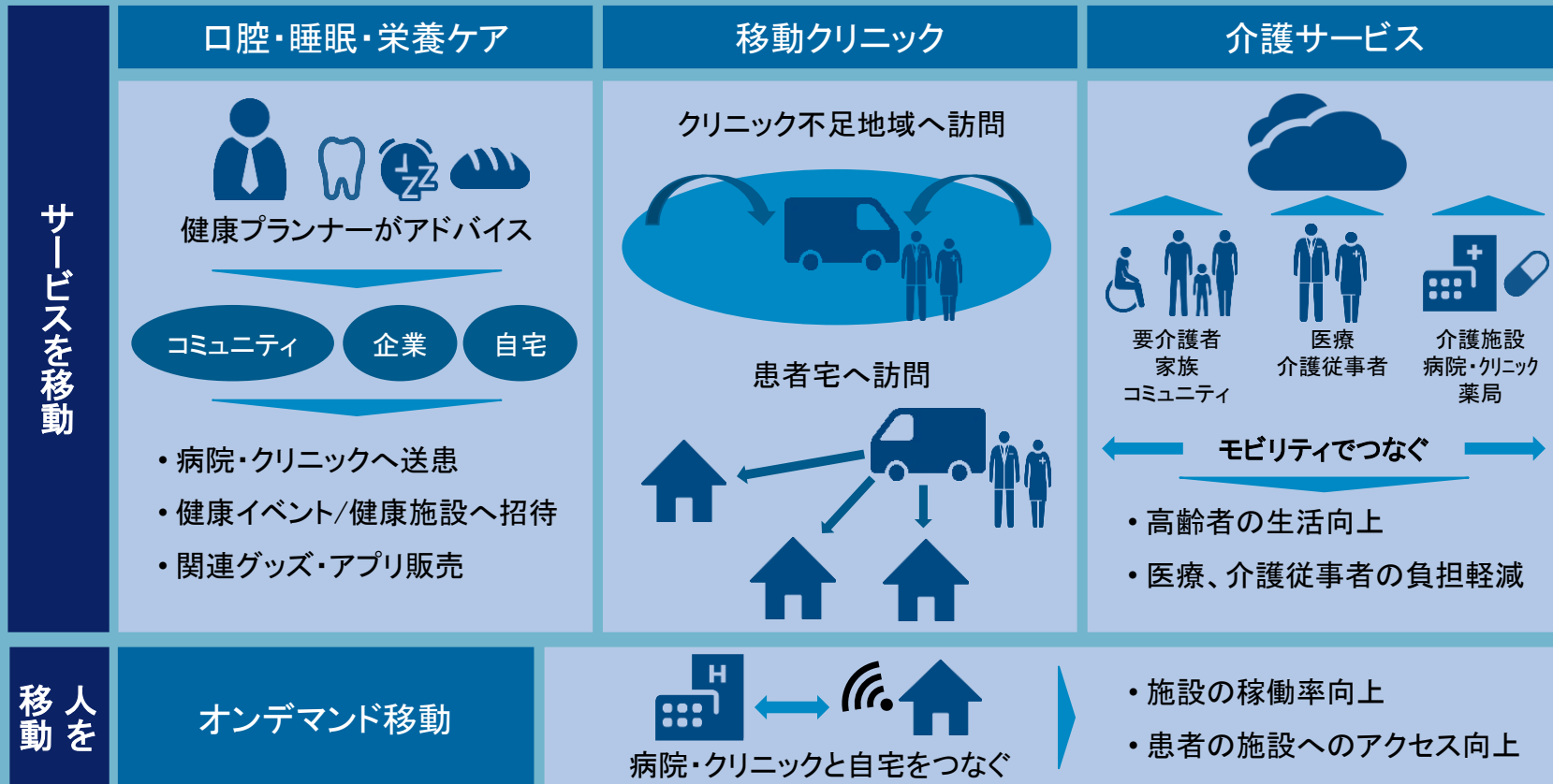
フィリップスのヘルスケアモビリティ構想



フィリップスのヘルスケアモビリティが目指す姿



フィリップスが実現するヘルスケアモビリティサービス例

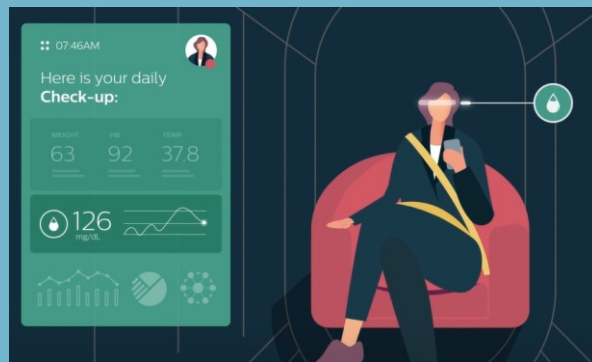


今後、ヘルスケモビリティにより実現されるサービス

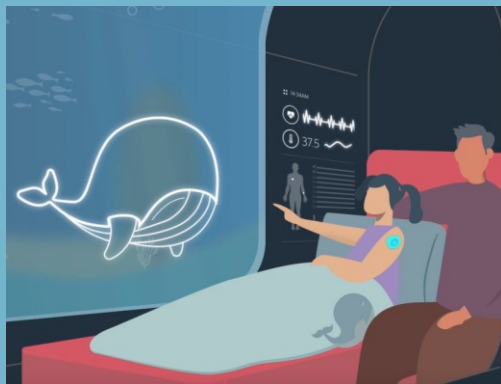
移動型
訪問診療



通勤中の
バイタルデータ取得
および
オンライン診療



移動中の
手術前メンタルケア



透析患者の
ピクニック





ヘルスケアモビリティの具体例①

～ 長野県伊那市のオンラインを用いた診療MaaS ～

PHILIPS

ヘルスケア領域の知見を活用
モビリティ領域への戦略的事業参入



医療従事者の働き方改革および
市民の健康向上への意欲

相互の強みを
最大限に発揮



モビリティ領域の知見を活用
ヘルスケアサービスの強化

ヘルスケアモビリティの完成・昨年12月からの運用開始





伊那市の課題と注力領域

課題

高齢化に伴う
慢性疾患患者や孤立患者の増加

&

医療従事者の不足・偏在
(上伊那医療圏は「医師少数区域」に該当)

注力領域

訪問診療・往診が困難化に対応するため「診断領域」に注力



実施事項（1/3）：訪問診療・往診・オンライン診療



病院・クリニック

移動空間

患者宅

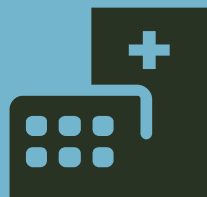
これまで



医師・看護師が移動
(訪問診療・往診)



(実証事業)
これから



オンライン診療



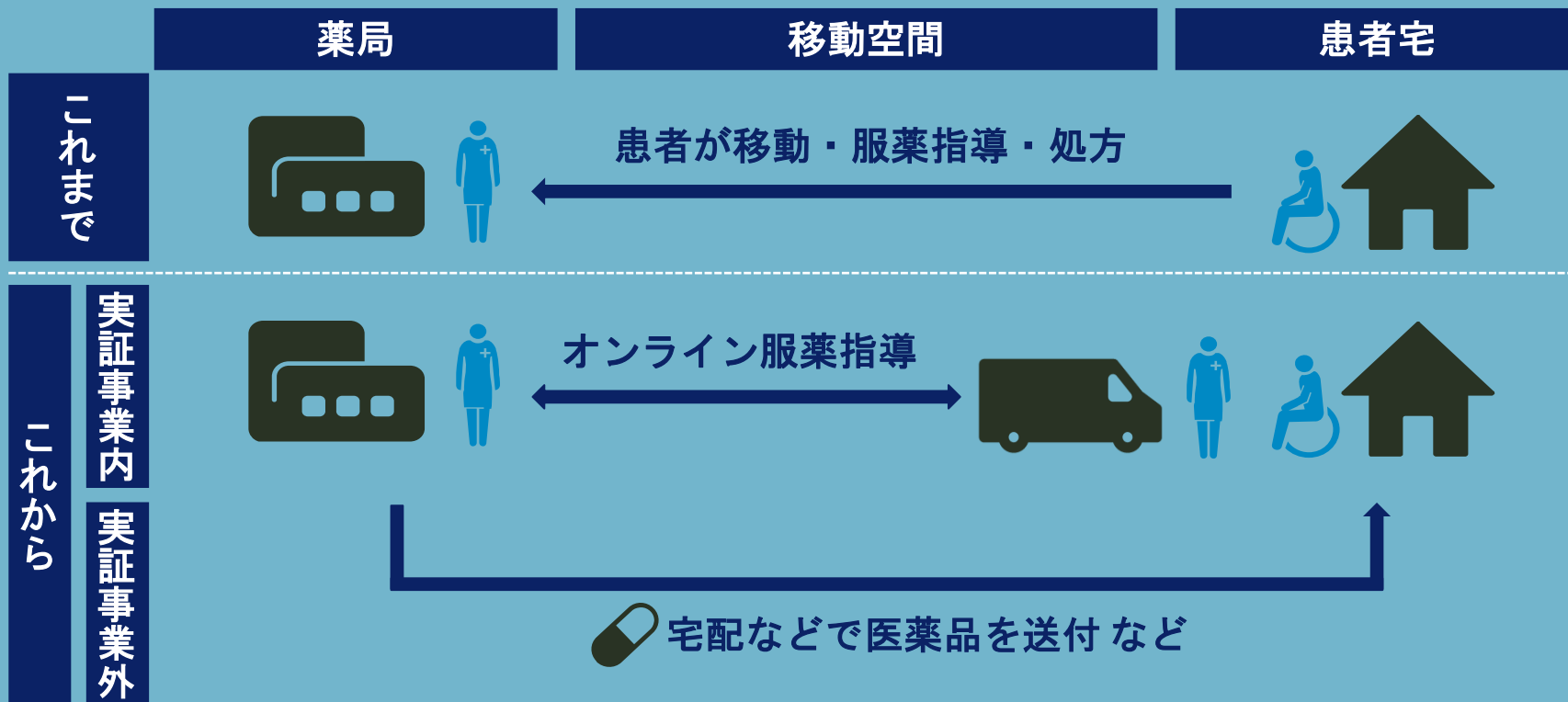
看護師による
診察補助



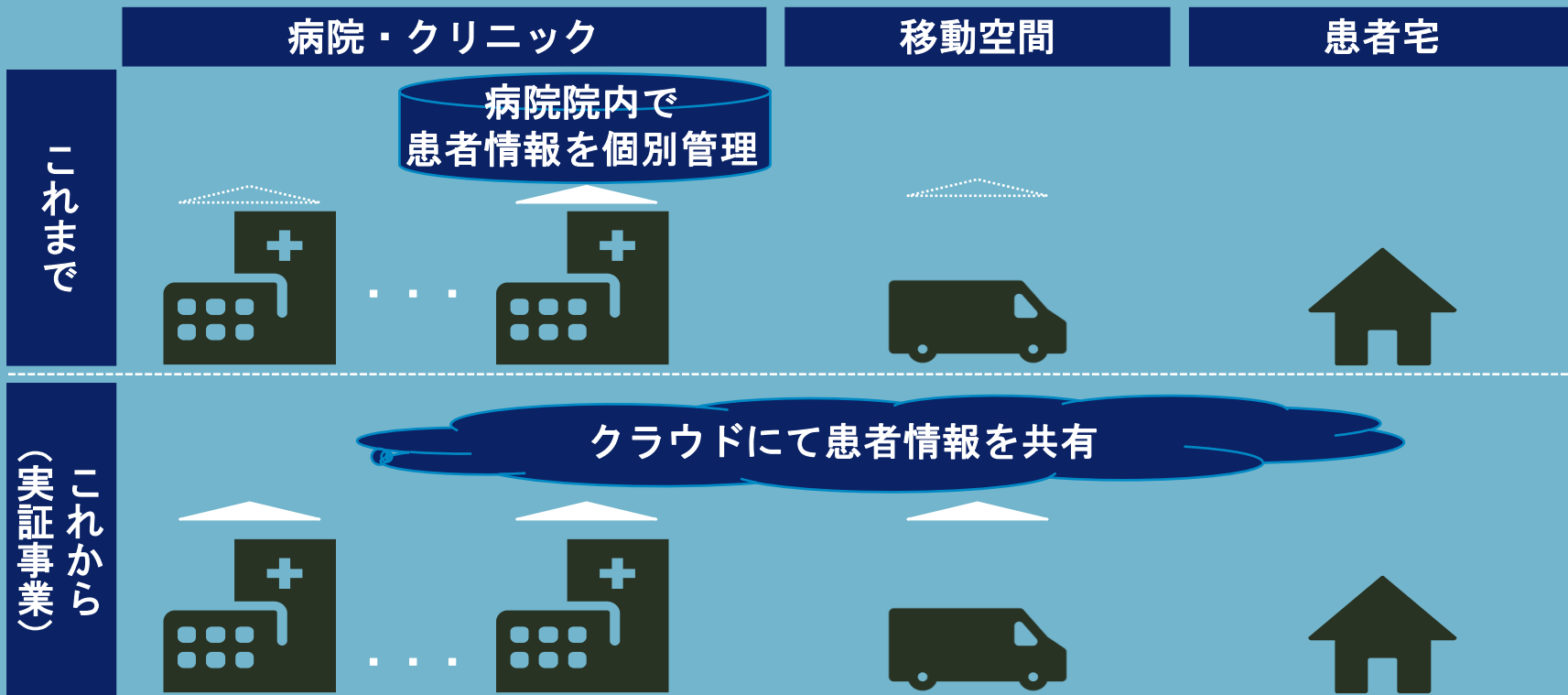
実施事項（2/3）：服薬指導・処方



※法改正の施行に伴い、実施予定



実施事項（3/3）：医療従事者同士の情報共有





ヘルスケアモビリティの具体例②

～ 青森市の高齢者の健康寿命延伸を目指した予防MaaS～

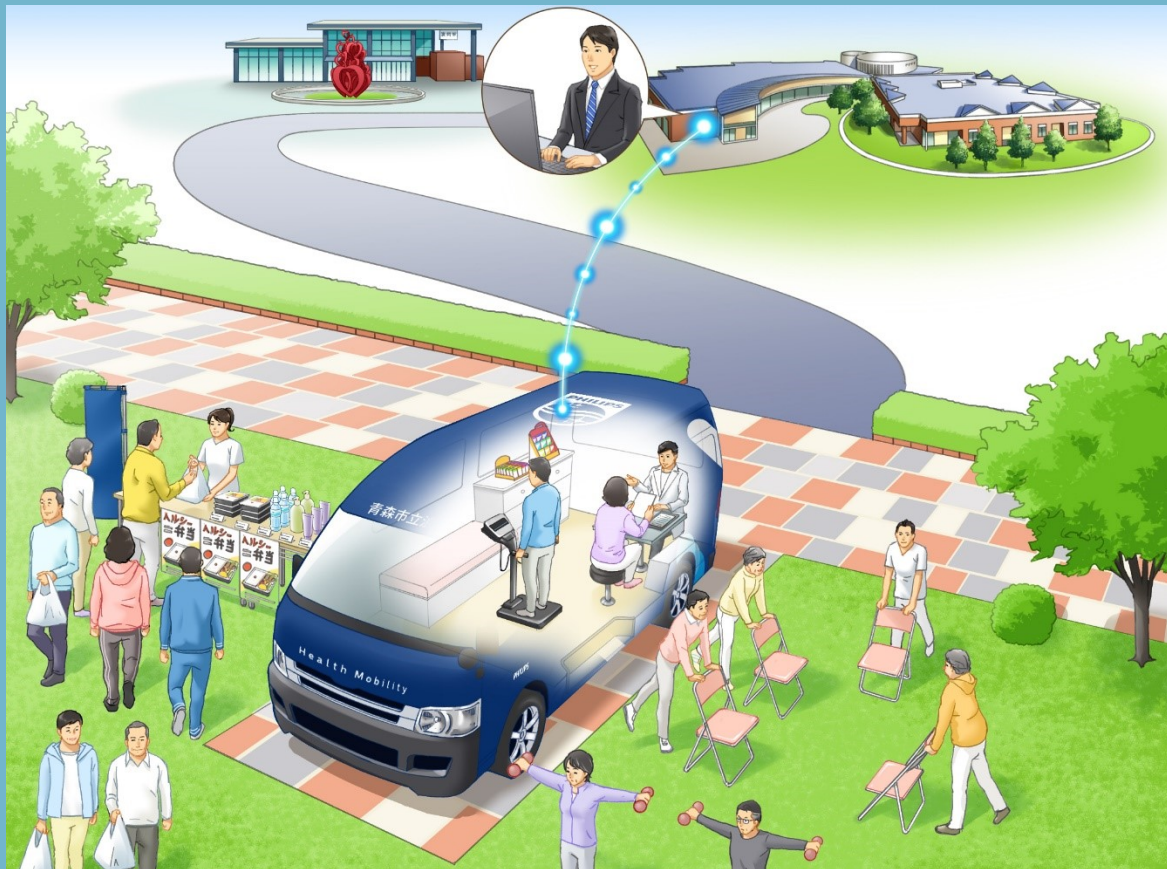
青森市の課題と注力領域

課題 高齢者の引きこもり & 医療・介護従事者の不足 & データ活用による効果的な介護予防の実現

注力領域 引きこもりがちな高齢者の健康寿命延伸を実現するため「予防」に注力



モビリティを活用した予防サービス（フレイル※/生活習慣病）



※
フレイルとは：
高齢者の虚弱に
よる運動機能や
認知機能の低下

データ分析を起点とした あおりヘルステックセンター構想

新・浪岡病院（2021年5月開業）



あおりヘルステックセンター

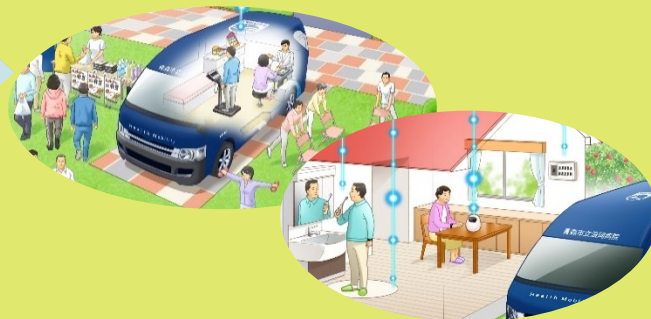
- 健康サービスを通じて得られたデータより、浪岡地区住民の医療・健康に関する需要を分析
- 分析結果より、さらに住民のためになるサービスを企画・推進

サービス

データ

住民の皆様

- 健康サービスのご利用





ヘルスケアモビリティの実現に向けて 企業が備えるべき要諦

① 現場課題起点

- 意味のあるイノベーションの創出には、「技術起点」から「現場課題起点」への転換が必要

② ルール対応

- イノベーション実現には「ルール対応」が不可欠
企業は、ルール対応のケイパビリティ獲得が急務

③ オープンエコシステム

- 一社だけの技術では「現場課題」を解決できない
オープンエコシステムの形成が必要

